

災害時における要配慮者のために

避難時や避難所において、助けが必要な人を守るために、助け合いましょう。

高齢者

危険の察知や状況の判断、避難が困難な場合があります。高齢者のみの世帯などへ、隣近所で声をかけ合いましょう。



障がいのある人

- 車いすを利用される人
階段の上り下りなどは、複数人で支援しましょう。
- 知的障がいなどがある人
障がいは身体によるものだけではありません。困っていることがないか声をかけ合いましょう。



- 目や耳が不自由な人
手話、筆談、身振りや、ゆっくりした大きな声など、様々な方法で伝えましょう。



外国人

わかりやすい日本語を使って、ゆっくり、はっきりと伝えましょう。



妊産婦や乳幼児のいる家庭

乳幼児を連れての避難は、ミルクやおむつなどの持ち出し品も多くなります。周囲の人が支援しましょう。



避難所での 3 つのマナー

1 ゆずりあい

避難所は限られたスペースしかありません。トイレの順番などもゆずりあいましょう。



2 たすけあい

健康で元気な人は、避難所運営のお手伝いをお願いします。



3 おもいやり

小さな子どもは、日常と異なる状況でパニックになったり、不安になって泣いたりすることもあります。また、様々な理由で順番に並ぶことができない場合などもあります。みんなで見守りましょう。

